

-----1月5日-----

2015年

※ 今週のアウトルック (1/5~1/9)

先週は、年末のポジションクローズが意外に多く、12月30日には円高が進んだ通貨ペアが多かったようです。

新年になり1月2日は、ある程度の買い戻しが入り、ドル円などは円安が進みましたが、クロス円はリスクオフ的なムードが強く円高が進んだ通貨ペアが多かったようです。

今週は、新年早々、リスクオフムードが思った以上に強く、どの程度そのムードが改善されるかまずは様子見、となる可能性が強いように思います。

米国雇用統計の結果が予想以上におもわしくなかった場合には、大きく円高にふれる可能性も考慮する必要がありそうです。

ドル円は、年末こそ円高が進んだものの、新年になり120円台中盤まで戻ってきています。ただ、120円台後半のレジスタンスは意外に厚いような気がします。

今週は週後半に米国雇用統計を控え、前半は様子見となる可能性が強そうですが、このところのマクロ指数は弱いものが多く、ネガティブな指標には敏感に反応しそうです。

米国雇用統計も、結果次第では大きく動くきっかけになるかもしれません。

ドル円の予想レンジは117円から122円です。

ユーロドルは、先週後半に入りユーロ売りが加速し、週末には1.2付近で終了しています。今週もし1.2を割るようなことがあれば、再びユーロ売りが一気に加速しそうです。

ユーロ円も145円を割ってきていることから、一度は142円付近まで下落する可能性が、高くなってきているように思います。

ユーロ円の予想レンジは142円から147円です。

ポンドドルも1.55付近のレジスタンスを一気にクリアしてきています。

今後は、1.5付近がターゲットとなりそうです。

ポンド円も180円割れを次のターゲットとする可能性が、高まってきています。

ポンド円の予想レンジは181円から187円です。

今週は、米国雇用統計の結果発表まで、様子見となる可能性が高そうですが、

クロス円を中心に弱気なセンチメントが強いため、何かのきっかけがあれば、一気に円高が加速する可能性も、考慮する必要がありそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。